

議 長  
確認印

少子高齢化対策調査特別委員会会議録

1 日 時	開会 平成 27 年 9 月 15 日 13 : 41 閉会 平成 27 年 9 月 15 日 14 : 14
2 場 所	委員会室
3 出席委員	藤田高志、吉田克則、鈴木 茂、鈴木安次、小峰由久、鈴木孝則、鈴木幸江、小貫初枝、割貝寿一、大縄武夫、小林達信、藤田一男、藤田恵二
4 欠席委員	なし
5 出席要求者	
6 職務出席者	議長鈴木道男 議会事務局長、書記
7 説明員	
8 付議事件	第 1 分科会の設置について 第 2 分科会の運営について
9 議事の経過	<p>鈴木安次副委員長開会 割貝寿一委員長あいさつ 第 1 分科会の設置について 委員長：中間報告をしたが今後問題を絞っていきたいと思う。お示しした 3 つの分科会に分けていってはどうかと思う。これでよいか。 (異議なし) 委員長：割り振りであるが委員長一任でよいか。 (異議なし) 委員長：議事に入る前に副委員長から資料が提出されているので説明願う。 鈴木(安)委員：少子間に関して新聞記事が出ていたので参考になればとお配りした。 委員長：各分科会の編成を配る。 委員長：配布のとおりである。分科会の代表を選出してほしい。 (委員が協議) 委員長：第一分科会は小林達信委員、第二分科会は割貝寿一委員、第三分科会は鈴木安次委員に決定した。 吉田委員：会合を何回やるとか決まっているのか。 委員長：活動内容によって変わってくるので各分科会で取り組む内容など決めてほしい。 藤田(一)委員：分科会活動はバラバラでよいのか。 委員長：分科会に任せる。大まかなスケジュールはお示しするが。 委員長：3 分科会に分かれて協議してほしい。15 分ぐらいでどうか。 委員長：2 時までには終了してほしい。 (休憩 各分科会に分かれて協議) 委員長：再開する。</p>

## 第2 分科会の運営について

委員長：各分科会から報告を求める。

(1) 第一分科会 少子対策 子育て、結婚促進など

小林委員：第一分科会である。結婚を最重要課題とする。出会いの場確保を9月30日に協議する。

(2) 第二分科会 高齢対策 健康寿命の延伸、健康推進など

割貝委員：第二分科会である。健康寿命の延伸、健康の推進を先に行った先進地視察を参考に検討していきたい。9月30日に会議を行う。

(3) 第三分科会 定住対策 働く場の創設、定住環境整備など

鈴木（安）委員：第三分科会である。定住環境整備では、塙のアパートはふさがっていて入りたくても入れない。だからよその町へ住むようになるという声を聴く。地元不動産へ聞き取りを行う。働く場の創設では、SMCの工場長からの聞き取り、道の駅長の話聞くことにした。

委員長：分科会のまとめは10月30日までとしたい。

その後委員会としてのまとめを11月中に終わらせたい。

以上で今日は終わりたい。

委員長：これで本日の会議を終わる。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例の第27条の規定により署名する。

平成 年 月 日

少子高齢化対策調査特別委員長